

8月 県連交流山行 (グループ山行)

8月28日～29日(土・日) 大山古道を歩く 鳥取県

参加者 (39名) 呉労山2名 広島労山7名 県北山の会19名
やまぼうし8名 宮木(一)宮木(澄) 花房 島田 西本 滝 坂井 若木



いにしへの善男善女が歩いた道 今歩く

28日(土)13時 キャンプ道具一式を積み込んで2台の車に分乗して出発。途中スーパーに立ち寄って今夜の食材を購入した。17時10分 予定より早く大山の下山キャンプ場に到着。

なんだか順番がおかしいけれど、とにかく先ずビールを飲んで、テントを設営、火をおこして焼肉の準備に取り掛かる。久しぶりのテント泊、童心に帰って遅くまで話が弾んだ。

29日(日)5時起床。今日も良い天気。西の空にまあるい月と木星が輝いていた。

大山古道はいにしへの善男善女が大山寺を目指して歩いた道。今は自然歩道として多くの人に親しまれている。

8時、濃い緑の下を歩き始める。暑い、8月も終わりだと言うのにこの暑さはなんということか。セミも

暑さでまいてしまったのかな？
たまに1~2匹がなくて。

10時30分、大休峠到着。ここからはずっと下り道が続く。

12時10分、地獄谷別れで昼食。そこから30分ほど歩いて大山 滝、下まで降りるとかなりの距離になるので上の展望所から眺める。この時期、水量はあまり多くないけれど3段になって流れ落ちる様子は迫力がある。

こんな山道にはめずらしい立派な吊り橋を渡り、次に380段の階段を上る頃には息は切れ足はガクガク、やっと14時10分終点の一向平(イッコウガナル)についた。この自然歩道はまた季節を変えて歩いてみたい素晴らしいコースだ。ただ配車に時間がかかるのが難点だ。今回は「県北山の会」の皆さんのご好意でマイクロバスに乗せてもらえたので随分時間的に助かった。(記 若木一之)

いろいろ準備をしてくださった県北山の会の皆さんに感謝します。